臨床研究に関する情報公開

＜人を対象とする医学系研究に関する倫理指針＞に基づき，研究の実施について情報を公開します。

＜研究課題名＞
イレウスに関する予後予測因子の検討と治療法に関する臨床研究

＜研究機関・研究責任者名＞
日本大学医学部附属板橋病院消化器肝臓内科 （研究責任者）江崎 充

＜研究期間＞
承認日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日

＜研究の目的と意義＞
1990 年代より外科手術の普及とともに術後癒着によるイレウスが飛躍的に増加し、その致死率は高率であったが、現在はイレウスチューブの出現によって劇的に減少した。近年、本邦では経鼻内視鏡が普及しイレウスチューブの性能が向上するとともに、短時間に責任病変の近傍へ挿入して減圧を図ることが可能となった。
本研究により当院のイレウス管治療に関するデータを後方視的に集積し、治療成績や予後不良因子、偶発症を検討することで、さらなる治療効果を向上させる一助としたい。

＜利用する試料・情報の項目＞
①研究対象者基本情報：年齢・性別・血液型・身長・体重・BMI・入院期間・既往歴・内服薬・身体所見
②血液生化学検査所見
③画像所見：CT・MRI・内視鏡検査・血管造影検査・X 線検査

＜対象となる患者さん＞
当院消化器肝臓内科で西暦 2014 年 1 月から西暦 2020 年 3 月までにイレウスの診断・治療目的で入院された 20 歳以上の方。

＜研究の方法＞ 2014 年 1 月から 2020 年 3 月までに、当院にてイレウスと診断された方の、年齢・性別・血液型・身長・体重・BMI・入院期間・既往歴・内服薬・身体所見・血液検査所見・画像所見・治療法を評価します。診療録からその後の経過を調べ、治療成績・偶発症・再発率・予後を同定し、他項との関連について解析を行い、リスク因子などを評価します。

＜お問い合わせ窓口＞
日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）
消化器肝臓内科 氏名：江崎充
電話：03-3972-8111 内線：（医局）2424 （PHS）8749